

韋駄天 金栗四三が走った道を訪ねて



金栗四三が通った生家から玉名北高等小学校（現在の南関第三小学校）までの通学路は「金栗四三ロード」と呼ばれています。往復約12キロメートルの道のりを近所の子どもたちと毎日走って通学しました。

その道のりは山坂の難所を超える山道で、初めはとても辛かったようですが、次第に楽に走れるようになりまし。スツスツハッハッと吸うと吐くを2回ずつ行う複式呼吸を体得したからです。この韋駄天通学で行き戻りすることによって、自然と心身が鍛えられました。

金栗四三はのちに「マラソンの基礎は小学校時代に（片道）1里半の通学を行ったことである」と語っています。

至 八女市



至 三加和小中学校

金栗四三生家

歯の神様



金栗四三の生家

金栗四三が生まれ育った家。築200年以上が経過した今でも現存しています。金栗家は、四三が生まれる以前は造り酒屋を営んでいて、玄関を入ると広い土間が印象的です。



七郎神 (塩井谷神社)

性・腰の神様。子宝に恵まれない人、夜尿病、足腰の病などに悩む人々それぞれに靈験があるといわれ、願いが叶った人々のお礼の紅白布が奉納されています。

八つの神様



胃の神様

地元では昔から「胃病にご利益がある神さま」との言い伝えがあり、お参りを続けると不思議にも元気を取り戻すという靈験あたたかな神様の一つです。

至 玉名市

金栗四三ロードについては諸説あります。

和水町は、までのもりてんじくう 萬里森天璽宮および三靈宮の前の道を通るルートが唱えられています。南関町では、萬里森天璽宮の手前から南に下り、豊前街道（現在の国道443号）を通り玉名北高等小学校に向かうルートと考えられています。

どちらの道を通ったかについては、現在のところはっきりしていません。

秋の季節です。

金栗四三ロードを歩いて走って金栗四三が通っていたあの頃と同じ風を感じてみませんか。

また、生家の近くには、体にまつわる八つの神様が点在しています。ご利益めぐりもお勧めです。全部回って体のあちこちにたくさんご利益をもらいましょう。

問い合わせ先

金栗四三ロードに関するお問い合わせ先

社会教育課 文化係

☎0968・34・3047

八つの神様めぐりに関すること

本庁 商工観光課 観光係

☎0968・86・5725



三靈宮

祭神は、あめのみなかぬし神、たかみむすび神、かみむすび神。今から約500年前に八代市から八代神社（妙見様）を迎えたものです。



萬里森天璽宮 (横脇の宮)

奈良時代元明天皇の和銅2（709）年の勸請といわれ、南関町内では最古の神社です。祭神は、ににぎのみこと。10月に神樂が奉納されます。



馬立菅原神社 (馬立の宮)

菅原道真を祭っています。拝殿や神殿の彫刻が見事です。鳥居右奥にあるいちい榎は、樹齢350年といわれ、神木として崇高の念があつといわれています。



金栗四三・生誕の地・和水町

かけあし登校

日本マラソンの父



三靈宮

萬里森天璽宮

馬立菅原神社

玉名北高等小学校

(現：南関町立南関第三小学校)

国道443号 (旧豊前街道)

いぼ

胃

歯

耳

手足

性

生命

目